

令和6年度使用西多摩地区町村立小学校教科用図書 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	算 数 (東京書籍)	理 科 (大日本図書)
内 容	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②吹き出しやまとめで数学的な見方・考え方に下線や太字を施し強調している。さらに、統合的、発展的に考えられるような文言を付与している。(★)</p> <p>③単元末には、「算数の目 - 大切な見方・考え方 -」というまとめがある。(★)</p> <p>④統計的な問題解決の方法をP PDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページやデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単分量当たりの大きさ」の単元の中で、「速さ」を取り扱っている。</p>	<p>①学習の定着を図るために単元末に、「確かめよう」「学んだことを生かそう」「振り返ろう」という内容を設けている。(★)</p> <p>②SDGs との関連について、第6学年では、巻末に「持続可能な開発目標」というページを設け、関連内容を掲載している。(★)</p> <p>③学んだことが日常生活でどのように活用されているのか、理科の有用性を実感できるように「学んだことを生かそう」というページを設けている。</p> <p>④興味関心を高めるために、単元の中だけで完結させず、自ら解決する子供に育つように「自由研究」という見開きのページを設けている。</p> <p>⑤巻末に、既習事項や他教科の学習内容との関連を3ページにまとめて掲載している。</p>
構成・分量	<p>①巻頭に「学びのとびら」がある。</p> <p>②各単元のはじめに、既習の学習をふりかえることができるページがある。(★)</p> <p>③各単元とも、適用の問題や習熟の問題がある。</p> <p>④巻末の「+ (プラス)」には、「ほじゅうのもんだい」や「おもしろもんだいにチャレンジ」がある。</p> <p>⑤各ページにデジタルコンテンツを使用できるようになっているものがある。</p> <p>⑥単元末に「算数の目」という数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。(★)</p> <p>⑦巻末に教科書に出てくる言葉や記号の索引がある。</p>	<p>①各実験や観察で「わかったこと・結論」に基礎的・基本的な内容が簡潔にまとめられている。また、「学んだことを生かそう」や「サイエンスワールド」、「りかのたまてばこ」に発展的な内容が関連付けて掲載されている。(★)</p> <p>②文章は発達段階を考慮して精査されており、簡潔にまとめられている。(★)</p> <p>③巻頭の「理科の学び方」に学習の進め方やもくじを掲載し、全体の構成を見通すことができる。</p>
表記・表現	<p>①「めあて」や「まとめ」が一目で分かるよう、教科書独自のマークなどではなく、「?」や「まとめ」という、日常的に使われる記号や言葉を使用している。(★)</p> <p>②写真は、日常的に目にするものを掲載している。挿絵や図表は色覚に特性をもつ児童でも使いやすいよう配慮がされている。</p> <p>③文章を読む力が十分に身に付いていない低学年段階でも取り組むことができるよう、挿絵が多くなっている。また、ノートを活用した振り返りの例示が載っている。</p>	<p>①ユニバーサルデザインフォントを採用している。また、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの配慮がなされている。</p> <p>②文節単位で改行をし、読みやすく理解しやすいように配慮されている。</p> <p>③写真は、直接見るできないものや身近なものを掲載している。</p> <p>④社会の多様性を踏まえ、様々な児童が登場するように工夫し、人権教育への配慮がされている。登場する第3～6学年の児童のイラストが成長していく様子が分かる工夫がされている。(★)</p> <p>⑤動植物名や外来語はカタカナで表記し、漢字は当該学年までのものを使用している。漢字で表記した方が分かりやすい用語にはふりがなが付いている。動植物や薬品などに関する用語は、学術用語集に準拠している。</p>
使用上の便宜	<p>①第1学年～第5学年は上下巻2冊の分冊で、第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②第1学年の第1・2単元のみA4版で、第3単元以降はB5版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は全学年の学習の系統性が分かるようになっている。(★)</p> <p>⑤巻末には前学年までのまとめが掲載されている。(★)</p> <p>⑥学習者用デジタル教科書導入を見越し、デジタルコンテンツ活用のための二次元コード等が随所に配置されている。</p> <p>⑦吹き出しを使ったヒント（考えるための手がかり）が多用されている。</p> <p>⑧西多摩地区で研究された教材が扱われている。(★)</p>	<p>①学び方として「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の順に問題解決の流れを色分けして、1本のラインを入れている。(★)</p> <p>②A4に大判化されており、1ページあたりの情報量が多くなっている。</p> <p>③「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」などで事例や施設についての文章や画像で紹介されている。また、二次元コードでは動画も掲載されている。</p> <p>④ページ下部に二次元コードが記載されており、関連するウェブコンテンツにアクセスできるようになっている。全学年合計で1175のコンテンツが掲載されている。(★)</p>